

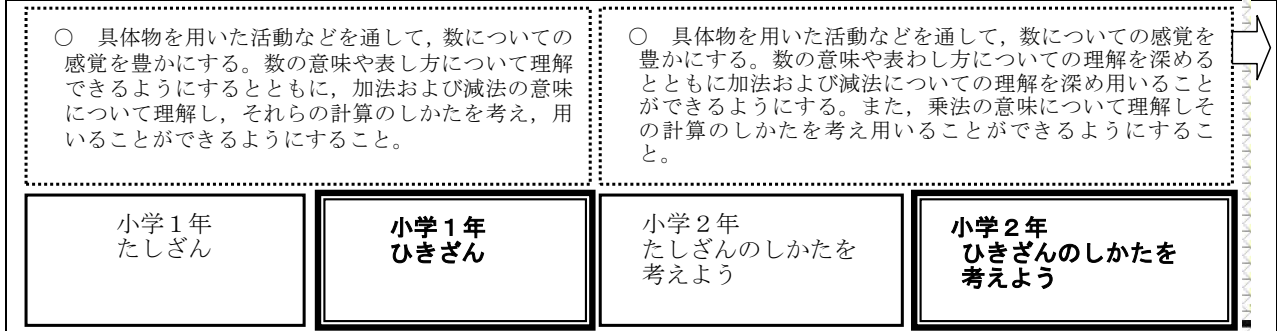
小学校第1学年・第2学年 算数科共通学習指導案

1 単元名 小学校第1学年…ひきざん

2 9か年の教科の到達目標

- 数の概念についての理解を深め、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を培う。

3 実践する単元の系統



4 単元目標

小学校1年	小学校2年
<ul style="list-style-type: none"> ○ 数の構成や10に対する補数などの学習経験を生かして、11～18から1位数をひいて繰り下がりのある計算のしかたを進んで考えようとする。 ○ 18までの数の構成や10に対する補数に着目して計算のしかたを考えることができる。 ○ 11～18から一位数をひいて繰り下がりのある減法計算ができる。 ○ 11～18から一位数をひいて繰り下がりのある減法計算のしかたを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の加法の筆算のよさを認め、2位数の減法についても筆算のしかたを考えようとする。 ○ 数のしくみ（十進位取り記数法）や加法の筆算のしかたをもとにして、2位数の減法の筆算のしかたを考えることができる。 ○ 筆算形式による2位数の減法計算ができる。 ○ 筆算形式による2位数の減法計算のしかたや加法と減法の間係を理解することができる。

5 児童の実態

<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ブロックなどの具体物を用いながら、被減数が10以内の減法計算を確実にすることができている。また、計算のしかたを考えたり、具体物を用いながら説明したりすることができている。 ○ 自分の考えを順序立てて相手に分かりやすく説明したり、考え方の共通点や相違点に気づいたりすることが十分にできていない。 	<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生から、指を使わずに計算することを徹底してきたこともあり、減法の計算を確実にすることができている。また、自分の考えを言葉で説明することが概ねできている。 ○ 問題把握が確実ではない児童については、被減数と減数を逆に立式したり、考えを言う場合に計算のしかたの説明にとどまっていたりしている。
---	---

6 指導上の課題と手だて

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめや振り返りをする際に、考え方の共通点や相違点、考えのよさに気づかせる活動が十分でない。 <p>【手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを順序立てて説明するために、半具体物や図・式などで考えをつくるときに順序を意識させながら操作をさせる。 説明する（関連付ける） ○ 友だちの考えや新しい考えのよいところに気づくために、自分の考えとの共通点や相違点を考えさせる。 協議する（比較する） 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の振り返りをする際に、自分や友だちの考えのよさやより効率的な方法に気づかせる活動が十分でない。 <p>【手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの考えのよさや、より効率的な考えに気付くことができるようにラベリングするなど、提示方法を工夫する。 協議する（比較する） ○ 自分の考えを振り返り、よりよい考えを付け加えたり自分の考えを修正したりしながらまとめさせる。 協議する（整理する）
---	--

7 共通指導計画（小学1年…12時間）

主な学習活動・内容	は主な振り返り場面	言語活動に関する手だて等	主な評価規準
小学1年「ひきざん」			
1 13-9の計算のしかたを考え、減加法による計算方法をまとめる。	(1の本時) 振り返り 報告する(整理する)	○ 考えを発表する際には、ブロックでの操作と結び付けて説明するように指示する。	○ 繰り下がりのあるひき算のしかたについて、ブロックや図を使って考えることができる。
2 減数が9の場合の計算に取り組み、理解を深める。	振り返り 報告する(整理する)	○ 計算手順を言いながら、ブロック操作をさせる。	○ 減加法による計算のしかたを理解できる。
3 減数が8, 7, 6の場合の計算のしかたを考え、減加法による計算方法についての理解を深める。	振り返り 協議する(整理する)	○ 考えを発表し、それらの共通点や相違点について話し合わせる。	○ 減数が8, 7の場合でも、10のまとまりから1位数をひけばよいことを理解できる。
4 計算練習に取り組む。		○ 今日の学習で分かったことや大切なことを発表させる。	○ 減加法による計算が確実にできる。
5 12-3の計算のしかたを考え、減々法による計算方法についても理解する。	(1の本時) 振り返り 協議する(比較する)	○ ブロックを操作するときは、順序を意識させながら操作するように指示する。	○ ブロックを操作したことや、念頭操作したことを言葉で説明することができる。
6 計算練習や、文章題を解決する。		○ 減数が小さい計算では、減加法・減々法それぞれの考えの共通点や相違点はどこかという視点を示す。	○ それぞれの考えの相違点や共通点に気付くことができる。
7 計算カードを用いたいろいろな活動を通して、11~18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の練習をする。		○ 計算カードを並べ、それを見て気付いたことを発表させる。	○ 減々法による計算のしかたを理解できる。
小学2年「ひき算のしかたを考えよう」			
1 39-15の計算のしかたを考え、減法の筆算形式を理解する。			
2 37-20, 37-27, 30-20, 37-35, 37-5の筆算のしかたを考える。			
3 減法と加法の関係を用いて、答えのたしかめをする。			
4 45-18の筆算のしかたを考え、繰り下がりのある筆算のしかたを理解する。			
5 40-18, 45-38, 45-8, 40-8の筆算のしかたを考える。			
6 文章題や、問題づくりに取り組む。			
7 「力をつけよう」に取り組む。			
8 「たしかめよう」に取り組む。			

8 小学校第1学年 組 本時の指導について

(1) 本時 (2 / 1 2) 小学校1年 組 教室

(2) 本時の目標

- 繰り下がりのあるひき算の仕方について考えることができる。
- ブロックで操作したこと話し合う活動を通して、比べて考えることができる。

(3) 本時の展開

	学習活動・内容	指導上の留意点口は言語活動を活性化させる手だて	評価規準
課題把握・見通し	<p>1 学習問題を知る。</p> <p>問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんぐりが13こあります。9こつかいました。どんぐりは、なんこのついていますか。</p> </div> <p>(1) わかっていること、たずねている文に線を引く。</p> <p>(2) 立式をする。</p> <p>・式 $13 - 9$</p> <p>2 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>$13 - 9$のけいさんのしかたをかんがえよう。</p> </div>	<p>指導上の留意点口は言語活動を活性化させる手だて</p> <p>(T2: 問題解決への興味・関心を高めるために日常の場面を再現し、具体物を提示し、問題場面をとらえさせる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 立式や答えの見通しにつなげるため、解決に必要な数値や文に下線を引き、条件と求答事項を明確にする。 ○ 前時までの学習内容を想起させる。 ○ 13の構成を確認する。 	
追究・確かめ	<p>3 見通しをもち、交流する。</p> <p>○方法の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックを使う。・図をかく。 ・言葉で書く。 <p>○考え方の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3から9は引けない。 ・こたえは、10よりちいさい。 <p>4 自分の考えをつくる。</p> <p>(1) 自力解決を行う。</p> <p>ブロックを操作して答えを求め、操作したことを図や言葉で書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13から1ずつとる。(かぞえ作戦) ・9を3と6に分けてひく。(ひくひく作戦) ・10のまとまりから9をとり、1と3をあわせる。(ひくたす作戦) <p>(2) それぞれの方法の解き方を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>協議する (比較する)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時では、3から9は引けないことを確認し、本時の課題意識を明確にする。 ○ ブロックで操作したことを図と言葉で書ける学習プリントを用意する。 (T2: 自分の考えがもてない児童に個別指導をする。) ○ ブロック操作した考えを図や言葉で順序だてて説明させる。 ○ 考えを発表させ、それらの共通点や相違点について話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブロック操作で自分なりの方法を探り、図・言葉で表すことができる。 (活動の様子) (算数プリント)
まとめ	<p>5 本時学習をまとめ、振り返る。</p> <p>(1) 計算の仕方をまとめる。</p> <p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>$13 - 9$の計算の仕方は、ひくひく作戦とひくたす作戦がある。</p> </div> <p>(2) 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・どちらの方法でも答えは同じです。</p> <p>・私はひくたす作戦しか考えられなかったけれど、ひくひく作戦もあることが分かりました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>報告する (整理する)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ どの計算の仕方でも答えが正しく求められたことを認める。 (T2: 友達や自分の考えのよさに気付き、振り返ることができているかを確認する。) ○ めあてと見通しを振り返らせ、今日の学習の感想を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、相違点や共通点に気付くことができる。 (発表)

9 小学校第1学年 組本時の指導について

(1) 本時 (5/12) 小学校1年 組 教室

(2) 本時の目標

- 繰り下がりのある減数が小さいひき算で、減数を分解して計算する方法を考えることができる。
- ブロック操作や図、式で考えたことを話し合う活動を通して、比べて考えることができる。

(3) 本時の展開

	学習活動・内容	指導上の留意点 <small>□ は言語活動を活性化させる手だて</small>	評価規準
課題把握・見通し	<p>1 挿絵から問題文を考え、自力で立式する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> おかしが 12こあります。3こたべると のこりはなんこですか。 </div> <p>○ 既習事項をもとに自力で立式し、前時の式との違いを見つける。 ・式 $12-3$</p> <p>2 めあてをつかみ、解決の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> めあて $12-3$ のけいさんのしかたをかんがえよう。 </div>	<p>○ 拡大した挿絵を提示し、教師がおかしを3こ食べる様子を見せ、どのような問題になるかを問う。</p> <p>○ 問題場面から $12-3$ を立式させ、前時と比べひく数が小さいことに気づかせる。</p>	
追究・確かめ	<p>○ 解決の見通しをもつ。 ・ひくたす法で考える。 ・ひくひく法で考える</p> <p>2 $12-3$ の計算のしかたを、既習事項をもとに自力で解決し、交流する。</p> <p>(1) 自力で解決する。 (2) それぞれの考えを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 説明する (関連付ける) </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>㊦ ひくたす法 (減加法)</p> <p>ブロックと図で</p> <p>10 □□□□□□□□ とる 2 □□ 12を10と2にわける 10から3をとって7 7と2で9</p> <p>式で</p> $\begin{array}{r} 12-3=9 \\ 10 \quad 2 \end{array} \quad 10-3=7 \quad 7+2=9$ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>㊧ ひくひく法 (減々法)</p> <p>ブロックと図で</p> <p>10 □□□□□□□□ とる 2 とる 3を2と1にわける 12から2をとって10 10から1をとって9</p> <p>式で</p> $\begin{array}{r} 12-3=9 \\ 2 \quad 1 \end{array} \quad 12-2=10 \quad 10-1=9$ </div>	<p>○ おかしをどこから食べるかによって、考え方が2つできることに気づかせる。</p> <p>○ 拡大した挿絵を見せて、箱の外から食べる場合と中から食べる場合の違いに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ○ 考えを順序だてて説明するために、ブロック操作や念頭操作するときは順序を意識しながら操作するように指示する。 </div>	<p>○ ブロックを操作したことや念頭操作したことを順序だてて $12-3$ の計算のしかたを考えている。 (活動の様子) (算数プリント)</p>
まとめ	<p>4 他の考えで解決し、考えの違いを話し合う。</p> <p>(1) 自分の考えと違う考えで解決する。 (2) 2つの考えを比べ、似ているところと違うところを話し合う。 ・分けている数が違う。・10からとるところが同じ (3) $12-3$ のけいさんはどちらの考えですと早くできるかを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 協議する (比較する) </div> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・私はひくひく法の方が早くできると思いました。理由は、ひく時は $12-2$ で10が簡単にできて、そのあとの $10-1$ も簡単だったからです。</p> <p>・ $12-3$ の計算は、ひくひく法が早かったです。ブロックをとった時、ぱっとすぐにとれたからです。</p> </div> <p>5 本時学習を振り返り、まとめる。</p> <p>(1) $12-3$ の計算のしかたをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> まとめ ひくかず3を2と1にわけてひく </div> <ol style="list-style-type: none"> ① ひくかず3を2と1にわける。 ② 12から2をひいて10。 ③ 10から1をひいて9 	<p>○ 考え方の似ているところや違うところを明確にするために色分けし、提示のしかたを工夫する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ○ 色分けしたところに着目させ、似ているところや違うところを話し合わせる。 </div> <p>○ どちらが早くできるか確かめるために、実際にブロックを操作して、理由を考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ○ よりよい方法を見つけるために、「早くできる」よさに着目させて話し合わせる。 </div>	<p>○ よりよい方法について話し合いながらそれぞれの考え方のよさに気づいている。 (児童の発言)</p>
	<p>(2) 本時の学習を振り返り、感想を発表する。</p>	<p>○ 減々法の考えについてまとめ、減加法、減々法それぞれによさがあり、ひき算の式に応じて使い分けるとよいことを知らせる。</p>	

10 小学校第1学年 組板書計画

ひきざん

もんだい

どんぐりが13こあります。9こつかいました。どんぐりは、なんこのこっていますか。

しき $13 - 9 = 4$
こたえ 4こ

みとおし

○ほうほう
・ブロックをつかう。
・ずをかく。・ことばでかく。

○かんがえかた
・3から9はひけない。
・こたえは、10よりちいさい。

めあて

13-9のけいさんのしかたをかんがえよう。

かんがえ

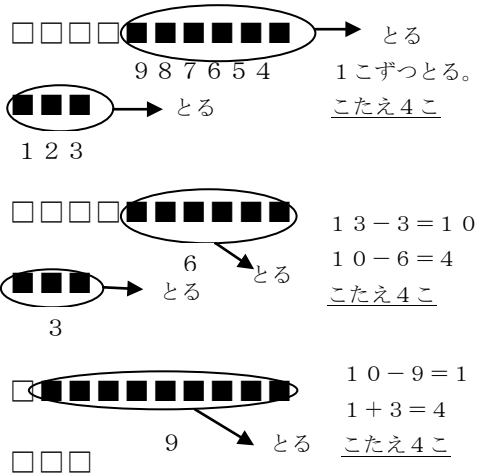
ア 13から1ずつとる。
かぞえさくせん

イ 9を3と6にわけてひく。
ひくひくさくせん

ウ 10のまとまりから9をひく。
ひくたすさくせん

まとめ

13-9のけいさんは、ひくひくさくせんとひくたすさくせんがある。



11 小学校第1学年 組板書計画

ひきざん

もんだい

おかしが12こあります。3こたべるとのこりはなんこですか。

しき $12 - 3 = 9$

13-9のしきとちがうところ

・ひくかずの9は、10にちかい
・ひくかずの3はちいさい

めあて

12-3のようにひくかずがちいさいけいさんのしかたをかんがえよう。

みとおし

ひくたすほう } ・ブロックで
ひくひくほう } ・ず・ことば
しきで

かんがえ

ひくたすほう

ブロック・ず・ことば
10□□□□□□□□(■■■)とる
2□□ 12を10と2にわける
10から3をとって7
7と2で9

しき $12 - 3 = 9$
10 2 10 - 3 = 7
7 + 2 = 9
こたえ 9こ

まとめ

ひくかず3を2と1にわけてひく。

- ① ひくかず3を2と1にわける。
- ② 12から2をひいて10。
- ③ 10から1をひいて9。
 $12 - 3 = 9$

ひくひくほう

ブロック・ず・ことば
10□□□□□□□□(■■■)とる
2■■■とる 3を2と1にわける
12から2をとって10
10から1をとって9

しき $12 - 3 = 9$
2 1 12 - 2 = 10
10 - 1 = 9
こたえ 9こ

ひくかずがちいさいときは、ひくひくほうがはやい